



たばこまち

学校の教育目標

- ①進んで学び合う子
- ②互いに思いやる子
- ③体をきたえる子

28年度 青森市立荻町小学校学校だより 第1号 4月28日発行 文責：相馬（教頭）

この四月に、本校に赴任しました校長の福士博司です。約1ヶ月が過ぎ、44人の児童と私を含む教職員12名、合わせて56名は毎日明るく充実した学校生活を送っています。荻小生には底知れぬパワーを感じます。また、保護者の方々には学校への力強い支えを感じます。地域の方々には、学校・児童を総がかりで守り協力しようとするたくましさを感じます。それに応えるべく、教職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも荻町小学校の教育活動にご支援とご協力をお願いします。教育方針は、始業式・入学式の式辞に表されています。下に掲載しますので、ご一読ください。

<始業式 式辞>

日差しが暖くなり、春が来ました。いよいよ1学期、新しい学年が始まりました。

これから入学する1年生5人と、新しい友だち3人を加えて、全部で44人の子どもたちと12人の先生とでのスタートです。今、みなさんがここにこしてこの体育館に集まったことをもううれしく思っています。

さて、みなさんは、この春休みをどのように過ごしましたか。新しい学年に進むための準備がしっかりできましたか？新しい鉛筆やノートを買ったことでしょうか。ズックもきれいに洗ったことでしょうか。これからの学校生活が困らないように準備するのは大切なことですね。

もう一つ大切な準備があります。それは、心の準備です。みなさんは、新しい学年、この1年間で頑張ること、目標、めあてを決めることが大事なのです。

そこで、28年度のスタートの日に校長先生からお願いをします。

一つめは、知らなかったこと・分からなかったことをたくさん知り、分かってください。

二つめは、いろいろな場面で、ああ、自分はんばれたと思えることをたくさんしてください。あいさつ、そうじ、勉強、運動、いろいろと挑戦してください。

三つめは、自分と周りの人たちの命と体と心を大事にしてください。交通事故に遭わない、知らない人について行かない、いじわるをしない。

先生方から、「荻小の子どもたちは優しい、正直だ」と聞いています。それを聞いて、とてもうれしいです。みんな仲良く、よく学びよく遊び、助け合って、心も体もたくましい子どもになって、みんなが大好きな荻町小学校に、みんなが自慢できる荻町小学校にしていってください。特に、6年生をお願いします。後輩の良き手本となって、リーダーとして荻町小学校をリードしていってください。

新学期を迎え、全員が「失敗を笑わず、失敗を恐れず、失敗を繰り返さず」、やる気いっぱい活躍することを期待します。

<入学式 式辞>

今日、荻町小学校に入学した五人の1年生のみなさん、入学おめでとう。みなさんのうれしそうで元気な顔を見て、校長先生もとてもうれしくなりました。

学校はとても楽しいところです。周りにいるお兄さんやお姉さんがみなさんのことを優しく見守ってくれます。みんな仲良しで親切です。荻町小学校は先生方も優しいです。だから、みなさんは安心して学校に通って、たくさん勉強して、たくさん遊んで、自分のことは自分でできるように心も体も大きくなっていきましょう。

小学校での初めての日に校長先生と1年生のみなさんと三つの約束をしましょう。

一つめは、だれにでも元気にあいさつをしましょう。おはようございます、さようなら、ありがとう、ごめんなさい、などしっかり言える1年生になってください。

二つめは、みんな仲良くしましょう。お友だちのこんなところがいいな、とわかって、どんどんお話をし、みんな友だちになってください。

三つめは、事件・事故に遭わないで通学しましょう。けがをしない、けがをさせない、交通事故に遭わない、知らない人について行かないことを守ってください。

この三つをしっかり守ってください。そして、新しい教科書が入ったランドセルを背負って、元気に学校に通ってください。分からないことや困ったことがあったら、心配しないで、お話ししてくださいね。

保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございます。教職員一同、子どもたちの心に寄り添い、一人一人の良さや可能性を最大限に伸ばすよう指導して参りますので、どうか安心してお任せいただき、成長の様子を長い目で見てくださればと思います。何か相談したいことやお困りのことがありましたら、ご遠慮なくご連絡ください。

P T A 会長様はじめご来賓の皆様、本日はご多用の中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも学校と保護者と地域の皆様とで、この荻町小学校の子どもたちを見守り導いて参る所存ですので、ご支援・ご協力を宜しくお願います。



【新任教職員のご挨拶】平成28年度定期人事異動により4名の教職員が赴任いたしました。

校長 福士 博司



県総合学校教育センターから4月に着任しました校長の福士博司と申します。幼い頃から堤の市場に母と毎日買い物に来ておりました。昭和59年3月まで兄が本校に勤務しておりましたので、とても愛着のある菫町にお世話になることが嬉しくてたまりません。保護者・地域の皆様のお力をお借りして、菫小をさらに活性化していきますので、宜しくお願いします。

教諭 小野 憲武



保護者の皆さん、そして地域の皆さん、はじめまして！春の人事異動で平内町立東小学校から本校勤務となりました。小野憲武です。現在、3学年担任&卓球部顧問を担当しています。わたしにとって菫町小学校は「凶工の教育で有名」という印象が強く、校内のあちこちに飾られている版画の作品を見ながら、「わたしも頑張らなければ！」と、感じる毎日です。今年で50歳を迎えますが、子ども達の元気に負けないように、若い気持ちで頑張ります！宜しくお願いします。

事務主任 笹森 裕子



東陽小学校より転任してきました笹森裕子です。元気な挨拶で迎えてくれた子ども達の皆さんに感動しています。菫町小学校の皆さんのために一生懸命頑張りたいと思います。保護者、地域の皆さん、宜しくお願いします。

主任技能主事 三上 康幸



三内西小学校から異動してきました技能主事の三上康幸です。宜しくお願いします。

【今年度の教職員紹介】

学年等	氏名	担当(部活・PTA等)
校長	福士 博司	学校経営
教頭	相馬 良仁	野球部 PTA事務局
教務主任	川村 浩	野球部顧問 PTA広報委員会
1年担任	川浪 小百合	卓球部 PTA広報委員会
2年担任	石川 久子	野球部 PTA校外安全委員会
3年担任	小野 憲武	卓球部顧問 PTA校外安全委員会
4年担任	岡山 ふじ子	卓球部 PTA校外安全委員会
5・6年担任	丹羽 佳世子	卓球部 PTA広報委員会
2組担任	佐々木 泰子	野球部 PTA校外安全委員会
養護教諭	平野 淑子	野球部 PTA広報委員会
事務主任	笹森 裕子	緊急メール配信
主任技能主事	三上 康幸	技能労務

今年度も子ども達の教育に誠実に取り組んでいきます。皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

【5月の行事予定】

5月2日(月)	交通安全教室(5・6校時)
3日(火)	憲法記念日
4日(水)	みどりの日
5日(木)	こどもの日
10日(火)	全校朝会 外国青年来校
11日(水)	尿検査 運動会全体練習(3校時)
12日(木)	宿泊学習(5年生 梵珠少年自然の家 学校着8:40) 午前授業(給食後下校)
13日(金)	宿泊学習(5年生 梵珠少年自然の家 学校着14:50)
15日(日)	PTA花壇整備、校庭整地(9:00~11:00)
16日(月)	運動会全体練習(3校時)
17日(火)	歌声集会 心電図検査(1年) 運動会全体練習(3校時) 応援練習(4校時)
18日(水)	19日(木)と曜日交換 運動会総練習 委員会活動
19日(木)	18日(水)と曜日交換 運動会全体練習(3校時) 学校評議員会
22日(日)	運動会(入場行進8:40)
23日(月)	振替休業日
25日(水)	外国青年来校
26日(木)	読み聞かせ 集金日 クラブ活動
27日(金)	歯科検診
31日(火)	全校朝会

【お知らせとお願い】

5月15日(日)PTA花壇整備・校庭整地作業があります。是非とも皆様のお力をお貸しください。多数の参加を宜しくお願いいたします。



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立菟町小学校学校だより 第2号 5月30日発行 文責：相馬(教頭)

親の愛、子の愛

校長 福士博司



先日行われた運動会。親と子がふれあう種目がありました。1～3年「それゆけ 親子で 三太郎!」、4～6年の「青森の果てまでイッテQ」、フォークダンス「タタロチカ」など、競技に積極的に参加してくださいましてありがとうございました。競技種目に我先にと飛び込んでいくお父さんやお母さんの姿もとても印象的でしたが、親の姿を探す子どもたちの眼が、本部から見ていた私にはとても輝いたものを感じました。親子の愛で結ばれているのがよく分かりました。

親と一緒に登校していた1年生の、親と別れる地点が明らかに変わりました。最初は児童玄関前だったのが、校門前となり、そののち甘栄堂前の交差点までと距離を置くようになったご家庭など。まるで、親鳥から巣立ちの準備をし始めたひな鳥を見守るかのようにも感じられます。他の学年の子どもたちも4月とは異なる成長を見せ始めています。そのように、子どもたちは一步一步成長し、中学生となり、高校生となり、親元を離れていくのです。保護者の皆さんもそのような経験をして今があるはずです。



だからこそ、今のうちにたくさんの愛情を注いであげてください。今しかできない愛情のこもった交流をしてください。可愛がるときも、論ずるときも、親としての愛をたくさん詰め込んで、人生の先輩として与えてください。

小学校は6年間ですが、あっという間に過ぎ去っていきます。お話をする時間・親子のふれあいの時間を可能な限り作ってあげて、深い絆がさらに太くなり結ばれることを祈るばかりです。

運動会、どの子も輝いていました。子どもの躍動する姿、懸命に競技する姿に心打たれました。子どもの満面の笑みほど我々教職員にとって喜ばしいものはありません。家庭から笑顔で登校し、学校から笑顔で帰宅できるよう今後も取り組んでまいりますので、さらに連絡を取り合っていきましょう。



最後になりましたが、運動会当日の朝早くからの準備作業、後片付け・撤収の作業まで、保護者の皆様、「おやじの会」OB・地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。日曜日にもかかわらず、運動会に駆けつけてくださいました来賓の方々にも感謝申し上げます。

*菟町小学校ホームページの「お知らせ」のページを再開しました。学校での子どもたちの活動の様子が分かるものとなるよう頻りにアップしていきますのでアクセスしてみてください。これは、元PTA会長で学校評議員のTさんのご協力・ご尽力で更新されていることを申し添えます。

【命を守る交通安全教室】



5月2日(月)全校児童を対象とした交通安全教室を実施しました。1、2年生は校庭で横断歩道の安全で正しい渡り方を練習した後、通学路の横断歩道を巡り、堤町交番所員の方々の指導を受けながら真剣に渡り方の練習に取り組んでいました。3～6年生は交通安全協会の方々のご指導の下、安全で正しい自転車の乗り方を学びました。

本教室を終えたことで、3～6年生には自転車に乗ることができることを指導しています。子ども達が安全な学校生活をしていくために、今後も朝の会や帰りの会等を通して、登下校の安全や自転車を含めた交通安全について繰り返し注意喚起を促していきます。ご家庭でも

日々の声がけをよろしく願いいたします。

【自分の命を守る避難訓練(火災)】

5月10日(火) 萁小タイム時、4階家庭科室からの出火を想定した避難訓練を実施しました。今回は、①校内放送を指示を聞き、②担任の避難誘導の下、校庭へ安全に避難することをねらいとして行いました。避難を終えた全校児童に対して、はじめに自らの避難の仕方を振り返らせ、次にハンカチを口・鼻に当てて煙に巻き込まれない避難の仕方を確かめ合いました。今年度も5回の避難訓練を通して、生活安全・交通安全・災害防災から身を守る教育活動を丁寧に行い、安全教育を進めていきたいと考えています。

【5年生、親元を離れての宿泊学習】



5月12日(木)、13日(金)、5年生5名は、梵珠少年自然の家(五所川原市)において、橋本小学校・古川小学校と合同の宿泊学習を体験し、たくましさを増して帰ってきました。1日目当初は、他校の人数の多さに臆す場面が見られましたが、次第に慣れ始め、普段と変わることなく集団生活を送ることができました。特に、相手に伝わるはきはきした挨拶や返事、進んで作業する態度等、これまで学校で学んできたことを当たり前のように実践した5年生です。2日間を通して、私たち引率者一同は、誇らしげな眼差しで見守ることができました。

【環境整備へのご協力 ありがとうございます】



運動会(5月22日)を間近に控えた5月15日(日)、PTA主催の花壇整備・校庭整地作業を行いました。

前庭の花壇に、550本の花苗(マリーゴールド、サルビア、ペチュニア)を植え付けました。また、校庭では、参加した児童が石拾いをしてくれた後、大山直人さんが、重機によって雨水の溜まりやすい校庭北側の地面の土換えをしてくださりました。おかげで地面の窪みやでこぼこがなくなり、安全に競技できる環境が整いました。当日は、41名(保護者、小学生、中学生、地域の方々)が参加してくださいました。また、花壇整備を円滑に進めるために、PTA副会長の皆さん(大山さん、高杉さん、齊藤さん、近藤さん、小枝さん、平田さん)が事前の草取りやマルチ張りなど、時間をつくって学校に足を運んでくださったことを紹介いたします。今回の活動を通して、多くの方々萁町小学校を支えてくださっていることを改めて実感しました。心から感謝申し上げます。



【保護者・地域の皆様へのご協力依頼】

5月18日(水)PTA総務委員会が開催され、運動会と萁小バザー等について話し合われました。校内に雑巾の在庫が不足しているため、保護者や地域の方々に寄付の依頼を呼びかけることになりました。寄付にご協力していただける方は、学校(734-2004 担当:教頭)にご連絡をくださればお受け取りにうかがいます。

また、バザーの協力を保護者の皆様のほか、地域の皆様にも呼びかけることになりました。ご協力が可能な方はお手数でも学校にご連絡くださるようお願いいたします。詳細についてご説明いたします。昨年度に比べて家庭数が減少しましたが、子ども達の健やかな成長のため、各町会長さんをはじめ、地域の皆様のご理解・ご支援をいただきながらPTA活動を推進していきたいと考えております。よろしく願い申し上げます。

【6月の行事予定】

1日(水)	避難訓練 体育デー競技場練習(6年)
2日(木)	午前授業(教職員の研修会) 読み聞かせ(3、4年)
3日(金)	なわとび検定(3校時)
4日(土)	交歓野球大会(野球部 幸畑小)
6日(月)	クリーン作戦リーダー指導
7日(火)	全校朝会 体育デー競技場練習(6年)
8日(水)	地域懇談会 外国青年来校 リトルJUMP委嘱状交付式
9日(木)	読み聞かせ(5・6年) 浦町中学校壮行会参加(5・6年)
10日(金)	1、2年校外学習(浅虫水族館等) 浪打中学校壮行会(5、6年)
11日(土)	交歓野球大会(野球部 筒井南小)
14日(火)	全校朝会 体育デー競技場練習(5、6年)
15日(水)	地域クリーン作戦(5、6校時)
16日(木)	読み聞かせ(1・2年)委員会活動
17日(金)	2年生提案授業 脇野沢小学校来校
20日(月)	体力テスト週間～24日(金)
21日(火)	児童集会 4年校外学習(八重田下水処理場)
22日(水)	外国青年来校
23日(木)	クラブ活動
24日(金)	体育デー(5・6年)
28日(火)	児童集会 食育出前授業(4年 3校時)
29日(水)	集金日 巡視船乗船体験(全校児童)
30日(木)	クラブ活動 2年町探検



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立荻町小学校学校だより 第3号 7月 1日発行 文責：相馬（教頭）

角度を変えて見ると

校長 福士博司



5, 6年生が体育デーに参加してきました。陸上競技場のある浪館は荻町方面とは違い小雨で、天気が心配されましたが、入場行進が始まる頃には次第に弱くなり、半そで・ハーフパンツ姿で10人は元気に行進しました。走り幅跳び、ボール投げ、男子400mリレーに出場した6年生。100m走では三大くんがF組で3位に入り賞状を獲得しました。先輩に応援席から声援を送る5年生。とても頑張っていました。学校を出発するときも校門で全校児童からの心強い応援をもらいました。応援という支えがあってこそ、より大きな力を出せたのでしょうか。「支える力」の大切さを感じました。陸上競技場に朝早くからテント設営のため駆けつけてくださった保護者の皆さん、各競技に5年生と一緒に応援してくださった保護者の皆さんの支えも大きな力となりました。荻町小は本当にたくさんの方々を支えられて教育活動が行われているのだと改めて感じさせられました。ありがとうございました。



さて、先日、国土交通省青森港湾事務所が主催する体験学習「乗船体験・港内見学」を青森港で行ってきました。全校2班に分かれ、4～6年生はプロジェクターを使っての机上学習もして、青森港の歴史や港の役割について学びました。また、普段は乗ることができない業務艇「つがる」で、中央埠頭からフェリー埠頭、堤埠頭と巡り中央埠頭に戻る35分間の「船旅」を全員が体験しました。児童から、「八甲田山が後ろにあり、青森市の街がこんな感じに見えるとは知らなかった。」「いつもは町の方から海しか見てないけれど、海側から見る青森市はきれいだった。」という感想が聞かれるだろうと思っていましたが、当日は深い霧に包まれて八甲田山も

東岳も市街地も見ることではできませんでした。実は、今回の乗船体験で、子どもたちに海側からの光景をぜひ見せたい、見てもらいたいという願いが私にはありました。

新中央埠頭に初めて行った時のこと。埠頭の先端まで行き、引き返してきた時に見た青森市街の光景が、とても新鮮に目に飛び込んできて、「青森市は美しい街なんだな。」と気づかされました。日常の生活で校舎から眺める光景は建物の向こうに広がる陸奥湾の一部見えるだけ。海岸沿いから見えるのは津軽半島と夏泊半島、下北半島に囲まれた陸奥湾……。しかし、逆方向の北側から市街地を見たとき、子どもたちはどんなことを感じるのだろうか、その体験もさせなかったのです。



青森港の歴史や港の役割について理解を深めることが主のねらいでした。私がもう一つねらっていた「別の角度から青森市を見る」という機会を得られなかったのは残念ですが、子どもたちには、船からでも新埠頭からでも一度は見てもらいたいと思っています。

人間は、何事においても、物事を別の角度から見ることによって、新たな発見や別の捉え方ができたりするものです。人と接する際、一面だけで相手を判断したり理解したりすることがありますが、いろいろな角度から見て接することによって、相手のよさを発見することにつながるように思います。今回の乗船体験では、逆から青森市街を見ることはできませんでしたが、多角的なものの見方で人と接し、他者理解の一層の深まりにつながるきっかけを今後持つことができると考えています。

1学期もあと二十日ほどとなりました。今学期の成長を確かめさせる時期です。4月とは確かに違うお子さんの成長に気づき、これからの生活につなげていきましょう。

【合言葉は「いいゆだな」】



6月1日(水) A.L.S.O.K.さんを招いて、児童を対象とした不審者対応の訓練を行いました。1～3年生は登校下校中の危険回避の心構えについて、4～6年生は留守番をする際の心構えと対処法について学習しました。特に仮設電話を使って不審者からの電話のやりとりを体験した子どもたちは、危険から身を守る術を学びました。また、実際にあった話をもとにした臨場感たっぷりの講話に、子どもたちは食い入るように聞き入っていました。A.L.S.O.K.の皆様、ありがとうございました。

【全校なわとび検定】



6月3日(金) 第1回全校なわとび検定を行いました。1年生にとっては初めての検定となりましたが、日頃の練習の成果を発揮する絶好の場となりました。検定後の感想発表場面では、思うように進級できた子の喜びの言葉や、次の検定に向けてチャレンジしようとする新たな決意等が述べられていました。現在も朝や休み時間等を使って子どもたちは元気に練習を続けています。第2回の検定は7月8日(金)を予定しています。

【地域のネットワーク】



6月8日(水) 浪打中学校長、浦町中学校長、各町会長等、25名の方々の参加を得て、第1回地域懇談会を開催しました。参加者の自己紹介後、PTA執行部から「今年度の活動計画・教育振興会納入のお願い」、渡辺学校支援コーディネーターから「昨年度から取り組んでいるボランティア活動の状況」、内山堤町交番所長から「青森市の交通事故や万引きの状況」についてそれぞれ情報提供や依頼がありました。懇談会を締めくくる質疑応答では、「運動会プログラムに来賓を対象とした種目(玉入れ等)を加えることについて」、「校門前の街路樹周囲の除草について」、「雑巾の寄付について」等の活発な意見交換が行われました。今後は保留となった事項について十分検討した後、学校だより等を通してご報告したいと考えています。ご多用の中、出席して下さった皆様方、誠にありがとうございました。

【地域クリーン作戦】



6月15日(水) 学校周辺を3コースに分けての地域クリーン作戦を実施しました。子どもたちは準備したゴミ袋とデレキを持って、分担された青柳コース、青柳公園コース、堤公園コースへ繰り出して行きました。ゴミ拾いを終えて戻ってきた子どもたちは、ゴミのないきれいな環境づくりのために、自分ができることを考えることができました。当日は、保護者や地域住民の方々が13名参加してくださいました。ご協力いただきありがとうございました。

【脇野沢小学校5年生との交流会】



6月17日(金) むつ市立脇野沢小学校5年生(8名が葭町小学校を訪問し、5・6年生と給食を共にし、休み時間は楽しい交流会を開催しました。互いの子どもたちは、あっという間に溶け込み、体育館ではリレーやドッジボール、相撲等に興じていました。めったにない下北地方の小学生との交流は、子どもたちの視野を広める貴重な体験となりました。

【ストップマーク補修作業】



6月22日(水) PTA校外安全委員会(小野委員長)によるストップマークの補修作業が行われました。昨年度補修した中で劣化している箇所を校外安全委員会の皆さんが事前に調査した上での作業でした。きめ細かな計画のおかげをもちまして、色鮮やかなストップマークが横断歩道の前にはり付けられました。補修作業に携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

【心を耕す読み聞かせ】



葭町小学校には現在4名の図書ボランティア(高橋さん、樋口さん、坪田さん、藤田さん)がいらっしゃり、主に葭小タイムの時間を利用して読み聞かせをしてくださっています。今年度は年間19回の読み聞かせを計画しています。4月には1年生を対象に入学を祝う読み聞かせが行われました。また、3月には6年生を対象にして卒業を祝う読み聞かせを計画しています。優しく滑らかな語り口調での読み聞かせが、子どもたちを物語の世界に誘います。体育デーや宿泊学習等の校外学習の際、葭町小学校の子どもたちの爽やかな挨拶や対応を誉めてくださる方々を見受けます。読み聞かせによって豊かな心情が培われている証だと考えています。図書ボランティアの皆様のご熱心な取り組みに感謝いたしております。

【7月の行事予定】

1日(金)	第1回漢字・計算チャレンジ
5日(火)	全校朝会 生徒指導学校訪問 第2回参観日(含:給食試食会・講話)
6日(水)	外国青年来校 清掃週間～12日
7日(木)	読み聞かせ(2校時:1～3年生 3校時:4～6年生) 委員会活動
8日(金)	全校縄跳び検定
10日(日)	親善野球大会(13:00) 参議院議員選挙(本校投票会場)
11日(月)	3年生提案授業
12日(火)	全校朝会
13日(水)	集金日 大清掃
14日(木)	クラブ活動
15日(金)	全校バス遠足
18日(月)	海の日
19日(火)	児童集会
20日(水)	水泳教室(市民プール)
21日(木)	1学期終業式
22日(金)	夏季休業～8月23日 保護者面談～29日 ラジオ体操(青柳公園)～8月7日
24日(日)	葭小バザー
28日(金)	平和の日



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立荻町小学校学校だより 第4号 7月21日発行 文責：相馬（教頭）

成長著しい1学期、実りある夏休みに

校長 福士博司



4月7日から7月21日までの出席日数が71日。学校生活を送ってきた子どもたちにとって、この71日は速かったのでしょうか、短かったのでしょうか。2年ぶりに学校で生活した私にはあつという間に過ぎ去った1学期でした。

7月のPTAでもお話ししましたように、子どもたちはわずかの期間で成長・変化するものだと強く感じました。ひよこだった1年生からリーダーの6年生まで、各学年が、授業、学校行事、校外学習、諸活動などを通して成長・進歩が見られました。考えてみますと、これは学校生活で教職員が親身になって一人一人を、さらには集団を指導したからだけではありません。お家の方々の日々の温かいかわりがあったからこそ子どもたちが健やかに成長していることは間違いなく言えることです。

エピソードを一つ紹介します。先日、大掃除と教室のワックスがけがありました。当然のことながら教室には何も置いていません。次の日の朝早く、1年生の教室には5年生の姿がありました。床がピカピカの教室に、1年生が使う机や椅子、教卓やオルガンなどの物品を入れようと駆けつけていたのです。細い体の5年生男子が力を合わせて汗だくになって運んでいました。1年生に負担をかけないように、1年生一人一人の座る場所まで確かめながら机・椅子などを配置してくれました。1学期のうちに、進級した5年生の顔になっていたのです。ここでは5年生のことだけを挙げましたが、他の学年の子どもたちも立派です。2学期、3学期はどんなに成長するのだろうかともワクワクします。



学校のホームページで、日々の様子の原稿作りを始めたのが5月19日。5月15日の記事から子どもたちやPTA活動など学校の様子を「お知らせページ」に掲載してきました。原稿を作り、写真を選んでいた時のことを思い出すと、一人一人の様子がどのようなものだったのかすぐによみがえります。私にとって、ホームページの原稿作りは、学校を知り、児童を知り、保護者・地域の方々を知る絶好の機会となりました。

さて、7月22日から子どもたちは夏休みに入ります。学年毎に学習会があれば、保護者面談に活用する場合がありますが、やはり、家庭での規則正しい生活が求められます。

私は、終業式で子どもたちに三つのお願いをしました。

一つ目。おうちでお手伝いをしてください。家族の一員として役に立つことをしてください。

二つ目。体を使って外でたくさん遊んでください。そして勉強もしてください。

三つ目。絶対に死なないでください。(事件事故に遭わない、巻き込まれない、病気・けがをしない、無理に泳いでおぼれない)

真っ黒に日焼けした顔で、全員がニコニコと元気な姿で8月24日の始業式に会うことを約束しました。保護者のみなさんも暑さで体調を崩すことのないようにお過ごしください。地域のみなさん、夏休みも荻町小学校の児童を見守ってくださいますようお願いいたします。

子どもたちにとって実りある有意義な33日間となりますよう。

【子どもたちの基礎学力を支える漢字・計算チャレンジ】



7月1日（金）今年度最初の漢字・計算チャレンジを行いました。実施に先立ち8：05～8：20までの苺小タイムでは「特訓週間」を設定し、[正確に・確実に]解く練習を積み重ねてきた特訓の成果を発揮しました。苺町小学校児童の学力向上に向け、大きな効果を上げている取り組みの中の1つにこの漢字・計算チャレンジがあります。学習内容を着実に定着させることに加え、学ぶ意欲や学ぶ習慣が養われていると捉えています。私たちは今後も子どもたち一人一人に目標を持たせながら取り組ませ、きめ細かな指導を行っていきたくと考えています。

【豊かな心の育成をめざす部活動】



7月5日（火）野球部と卓球部の部活壮行会を開催しました。ユニフォーム姿で登場した選手たちを全校児童が拍手で迎えました。野球部、卓球部の順に一人一人が大会に臨む抱負を述べました。部活動の指導を通して私たちが大切に考えていることは、目標をもち、達成に向けて自ら努力する態度と部員を仲間と認め合う豊かな心の育成です。その後に技術の向上が伴えばさらにうれしいと考えています。保護者や地域の皆様には、部活動に励む子どもたち一人一人をこれからも温かな目で見守っていただきたいと思います。

【好評に終わった家庭教育学級】



7月5日（火）第2回参観日を行いました。授業参観に先立って、今年度は小学校給食センター栄養教諭長沼由美子先生をお招きしての家庭教育学級を開催しました。内容は「給食試食会」と「食育に関する講話」でした。講話では、準備した食材を実際に調理しながら、子どもの成長に必要な栄養摂取について解説しました。簡単につくれる朝食のレシピの紹介に受講した方々は大変喜んでいらっしゃいました。長沼先生には大変お世話になりました感謝申し上げます。朝食レシピについて興味のある方は、学校へご連絡ください。

【アレン先生とのお別れ】



平成26年度から今年度にかけて苺町小学校児童の英語教育に携わってくださったアレン先生が、仕事の都合で国際交流員を退職されることになりました。7月21日（木）1学期の終業式に来校し、子どもたちにお別れの御挨拶をしてくれました。日頃から「苺町小学校の子どもたちが大好き。」と言ってくくださるアレン先生の優しい人柄が子どもたちを成長させてくれました。アレン先生、たくさんのご指導ありがとうございました。ますますのご活躍を願っております。

【お知らせ】

6月8日（水）地域懇談会において地域の方からご質問がありました「諏訪神社宵宮への巡回指導」と「苺町小学校校門前の歩道に植えている街路樹の除草」について、対応が決まりましたのでお知らせいたします。

- ・PTA校外安全委員会で検討した結果、諏訪神社宵宮の巡回指導を7月26日（火）実施することにしました。保護者と本校職員が巡回指導にあたります。
- ・街路樹の除草について、苺町町会の佐藤泰子さんが中心となって近所の方々に声をかけていただき、定期的に除草してくださることになりました。感謝申し上げます。

【お礼】



○学校日より5月号において、不足している雑巾の寄付について協力のご依頼をしたところ、多くの皆様からたくさんの雑巾を寄付していただきました。現在およそ150枚になりました。古くなった雑巾の交換や学校行事の清掃等に使用させていただきます。とても助かっております。ご協力に深く感謝申し上げます。



○7月24日（日）苺小バザー実施にあたり、不要になったハンカチの寄付を呼びかけましたところ、上記雑巾同様、多くの皆様からハンカチが寄せられました。PTA執行部を通してお預かりしていたハンカチを「松ぼっくり」作り講師の方にお渡ししました。まことにありがとうございました。また、バザー当日はぜひお越しただけたらと思っております。

【7・8月の行事予定】

7/22（金）	夏休み～8/23
23（土）	茶屋町地藏尊宵宮巡回
24（日）	苺小バザー10：00～
26（火）	諏訪神社宵宮巡回
28（木）	平和の日
8/11（木）	山の日
20（土）	いじめ対話集会（9：00）
24（水）	2学期始業式 登校指導～26日
25（木）	6年生修学旅行～27日 読み聞かせ 夏休み作品展～31日 給食開始
29（月）	6年生振替休業日
30（火）	全校朝会
31（水）	集金日 県学習状況調査（5年生） 外国青年来校



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立葭町小学校学校だより 第5号 9月1日発行 文責：相馬（教頭）

大切な命「全校朝会 8月講話より」



校長 福士博司

6年生が修学旅行から帰ってきました。旅行の団長として一緒に北海道に行ってきました。2日目は小雨にあいましたが、五稜郭の見学を終えて、夕方、函館山に登る前には青空が見え、山から見る函館の夜景はとてもきれいでした。6年生の行動もそれ以上に素晴らしかったです。これからの生活でさらに伸ばしていくところは6年生が知っていますので、さらに立派な態度で生活できるはずです。

さて、この8月24日の始業式に、「全員が元気に命を落とさないで体育館で始業式を迎えることができ嬉しい」とお話ししました。夏休み中にみんなもいろいろとあったことでしょう。

私事ですが、聴いてください。我が家には16年前にもらってきた犬・ロッキーがいました。今年16歳、人間の年でいうと82歳です。ロッキーは小さいときから、ごはんが食べたいとき、「ごはん」と言える犬でした。「待て、お座り、ちんちん、よし」の言葉がわかる頭のいい犬でした。でも、若かったロッキーも16歳になり、だんだん歳をとり体が弱ってきました。この8月に入ってから吐くようになり、おなかの調子も悪く、息も荒くなり苦しそうなので、何日も病院で注射や点滴をしてもらいました。外は暑いので、エアコンの効いた部屋に寝かせました。8月7日、外は花火大会の音が響き、夜はロッキーの傍に東京から帰って来た一番上の娘と私とで寝ました。苦しそうな息は一晩中続きました。次の朝、ロッキーは家族に見守られて天国に旅立ちました。その時刻に新幹線に乗り、東京から駆けつけた二番目の娘は残念ながらロッキーの死に目に会えませんでした。家族6人に可愛がられたロッキー。家族が作った棺おけにお花と、家族が書いたお礼のお手紙を、家族で作った棺おけに入れて火葬場で焼いてもらいました。小さくなったロッキーのお骨は部屋に置いて、飲めなかった水を毎日供えて拝んでいます。亡くなって、「ロッキーって大事な存在だったんだ」とはっきり分かりました。死んだら可愛がってあげられない、おいしいものを食べさせてあげられないことを知っていたので、家族はロッキーが小さい頃から可愛がり優しくしました。「この家族は僕に優しくしてくれた」と天国で思っていることでしょう。

「自分と周りの人たちの命と体と心を大切にしよう」は、今年のみなさんのめあての一つです。相手に優しくすると自分も優しくされます。幸せな気持ちになります。相手に辛くすると、自分も辛い気持ちになります。命があるから、毎日楽しいことも嬉しいことも経験できるし、友だちとも家族とも楽しめます。

言われたら嫌なことを言わない。されて嫌なことはしない。みんなに優しくしよう。葭小のみなさんは先生方全員に見守られ生活しており、皆さんにとっては幸せな学校です。辛いこと・苦しいことがあったら先生にでも家族にでも友だちにでも話してくださいね。お互いの命を守りましょう。

これが8月30日にお話しした内容です。自分を理解することに加え、他者を理解し認めることが大切です。また、そのような心のゆとりを持った人になっていけば、他人を疎外したり攻撃したりすることは少なくなるはずです。「あなたのことが気に入らないから×なのだ。」ではなく、「自分と違うあなたはかけがえのない人。違って当たり前のことなのだ。」と他者を理解し認められるよう力になればと思ってお話ししました。

【ラジオ体操】



夏休み期間、菟町小学校学区の複数の箇所（青柳公園や東北電力社地内など）でラジオ体操が行われました。青柳公園では、夏休みに入った7月22日（金）～8月6日（土）の間、行われました。

子どもたちの様子を見に行ったところ、地域の方々（県健全育成推進委員をされている奈良岡さんや子どもたちの交通安全に携わってくださった須郷さん、山田舘町会町会長さんなど）の熱心なご指導の下、子どもたちは元気に参加していました。ラジオ体操が終わると、持ってきたカードに押しもらった印を見て満足げに帰って行きました。また、最終日には用意してくださったおかしをもらい意気揚々と帰る姿が印象的でした。ラジオ体操に参加することを通して、子どもたちは夏休みの初日から規則正しい生活を送るスタートを切ることができました。

【菟小バザーお礼】

7月24日（日）菟小PTAバザーが開催されました。体育館前では昨年同様、棒パンや焼き鳥、焼きそばコーナーが設置され、食欲をそそる香りがたちこめていました。一方、体育館では飲み物やおにぎり、フランクフルトの販売所に加え、ストラックアウトや活用品、くじ引き、魚釣りなど企画された全てのコーナーが賑わっていました。また、今年度は地域の方々のご協力を得て、松ぼっくりを使った飾り物やお茶立て、昔遊びのコーナーを新たに開設しました。

こうして、PTAと地域の方々による菟小バザーが行われ、大盛況の内に終わりました。また、今回は石澤博労町会長や塩町の渡辺さん、前PTA会長本多さんの他、お子様が卒業された保護者の方々が準備や運営に力を貸してくださいました。そして、今や菟小の伝統となった「おやじの会」会員が参集し、炎天下、焼きそばや焼き鳥を担ってくださいました。心からお礼申し上げます。

最後に、子どもたちのことを第一に考え、今回のバザーを計画し、骨身を惜しまず準備を進めてくださった齊藤PTA会長をはじめとした実行委員の皆様には厚く感謝申し上げます。

【雑紙回収チャレンジ】

今年度も夏休み期間を利用して「小学生雑紙回収チャレンジ」をお願いしたところ、多くの皆様から協力を得ることができました。ありがとうございました。

集計した結果は、参加率86.4%、総重量110.7kgでした。まとめた報告書を事業の主催者である県環境政策課に提出する予定です。昨年度菟町小学校は、優秀校に選ばれた本事業ですが、結果が分かり次第、お知らせいたします。

これからも限りある資源物の有効活用に関わる活動を子どもたちと一緒に展開していきたいと考えています。

【お礼】

台風10号の接近・本県通過に伴い、菟町小学校の対応をまちComiメールを通してお知らせしたところ、速やかな連絡と保護者引き渡しに来ていただいたことに感謝申し上げます。堤川の氾濫や浸水などの被害を回避することができましたが、

今後も子どもたちの安全を守るため、緊急時において皆様のご協力を仰ぐ場合がございますが、よろしく願いいたします。

【9月の行事予定】

1日（木）	読み聞かせ（5・6年）委員会
2日（金）	全校音楽 代表委員会
3日（土）	児童交歓野球秋季新人大会
4日（日）	児童交歓野球秋季新人大会
5日（月）	浦町中学校職場体験～6日
6日（火）	児童集会
7日（水）	1年生研究授業 移動図書学校巡回
8日（木）	読み聞かせ（1・2年）午前授業 放課後子ども教室イベント（13:30）
9日（金）	総合防災訓練
13日（火）	児童集会
14日（水）	外国青年来校
15日（木）	読み聞かせ（3・4年）クラブ活動
16日（金）	全校音楽 職員会議
19日（月）	敬老の日 王恵幼稚園体育館使用（雨天時午前）
20日（火）	児童集会
21日（水）	劇団四季鑑賞会（6年）
22日（木）	秋分の日
23日（金）	全校音楽 学務課学校訪問
27日（火）	児童集会
28日（水）	集金日 外国青年来校
29日（木）	委員会
30日（金）	全校音楽 東青事務所長訪問



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立葭町小学校学校だより 第6号 9月30日発行 文責：相馬（教頭）

「誕生日おめでとう」から考えること

校長 福士博司

8日の学習発表会が近づき、練習に励む子どもたちの熱気に校舎は包まれています。市の連合音楽会は21日が発表の舞台。授業はもちろん、どの活動にも取り組む姿を見て、本当に頑張っているなと感心させられます。互いに満足できる成果につながればと期待しています。

そんな折、ある日の給食時間に、声を合わせて「おめでとうっ！」と大きな声が聞こえてきました。続いて「ありがとう！」と一人で返す声。本校でよくある光景です。その日はある児童の誕生日で、学級全員で誕生日を祝福するコーリングだったのです。本校に根付いているのでしょうか、その学年だけではなく、誕生日をお祝いするシュプレヒコールはたびたび聞こえてきます。そのようにみんなにお祝いされる子どもたちがうらやましい限りです。「自分の誕生日を祝ってくれた。ぼく・わたしはこの人たちの仲間なんだ。」と認められる瞬間でもあります。家に帰れば、ご家族もきっと誕生日を祝ってくれるでしょう。一年に一回だけの誕生日をこのように祝ってもらえれば、お祝いする方も含めて心が温かくなるに違いありません。

「人はオギャーと生まれて最初に吸った空気を生涯、肺に残し、最期にそれを吐いて死ぬという。」

彫刻家である舟越桂さんの言葉です。誕生日は生まれた記念すべき日です。この世に生まれ出て、最初の空気を吸って長い人生を歩む第1日。何年前、何十年前のことであっても、だれにでも人生の第1日があります。しかし、誕生の日を迎えるにあたり、自分が一人で生まれてきたのではないことに気づく時というのは、人それぞれ個人差があるはずで



誕生日は生まれてきたことを祝う日です。それに異論はありません。でも、私は親が年老いて見えるようになってから、「誕生日は、自分をこの世に送り込んでくれた親に感謝する日。自分が誕生した日を記念するだけではないのだ。」と考えるようになり、誕生日には母親に、自分を産んでくれたことに対して感謝の気持ちを伝えていきます。

今はまだ子どもの44人にも、誕生日が、母が苦しみに耐えて産んでくれた感謝すべき日であると気づく時が訪れればと思います。その気づきは中学校を卒業してからかもしれません。高校を卒業してからかもしれません。いずれ「おやじ、おふくろがやけに小さくなったな。」と感じるときが訪れることでしょう、そのときが子どもから大人への成長の分岐点、子ども時代からの脱却の時期だと思うのです。

子どもたちが歳を積み重ねるにつれて、誕生日がそんなにめでたくないと思うようになる時期がやってくる時があるかと思っています。しかし、今を無我夢中で生きる子どもたちが大人になって、誕生日を迎えた時に「親に感謝する日だ。」と、自分の親に「産んでくれてありがとう。」と言える日が来ることを祈るものです。



* 9月が終わります。平成28年度4月から始まって半年、前期が終わります。お子さん一人ひとり、自分なりに精いっぱい過ごしてきました。これから寒さに向かっていく時期になりますが、これからも葭小っ子のよりよい成長のためにお力添えをお願いします。前期のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

【夢の実現に向けて】



9月5日(月)、6日(火)の2日間、浦町中学校2年生3名が菫町小学校へ職場体験に訪れました。3名の皆さんは、「将来、教育に携わる仕事をしたい」という夢をもち、その実現の第一歩を踏むべく本校の門をくぐりました。2日間という短い期間ではありましたが、授業(4年国語、6年社会、4～6年体育)の中では補助役として子どもたちの活動を支えてくれました。後日、菫町小学校の職員、児童へ3名の皆さんからお手紙が届きましたので、その一部を紹介します。「・・・二日間の体験では、子どもたちが理解できる「教え方」とは、一人一人にできたという自覚を与えることである、など、私たちの将来の夢に役立つことを学ぶことができました。・・・」

【大地震に備えて】



9月9日(金)総合防災訓練を実施しました。今年度は総勢102名が参加し、地震と大津波警報発令を想定した避難訓練及び保護者引渡訓練に加え、市役所危機管理課の協力を得て実現した防災訓練の2本立てで行いました。本校は校舎の立地条件から、水害に備える垂直避難には特に力を入れています。地域住民を対象にした防災訓練では、中央消防署員からは起震車や消火器の説明を、日本赤十字社員からは心肺蘇生法とAEDの扱い方について講習を受けました。今回の訓練は各町会長や関係機関、講師を快諾して下さった横内郵便局長、準備のため朝早くから来校して下さったPTAの皆さんなど、関係各位の多大なご支援をいただいていたことが出来ました。伝え尽くせないほど感謝の思いで一杯です。ありがとうございました。

【学習発表会を迎える前に】



昨年度、体育館ステージの幕が破損しているのを発見して以来、学校評議員の山内美恵子さんや民生児童委員の工藤美智子さん・佐藤泰子さんを指南役にお招きし、PTAの皆様の協力を仰ぎながら修理を進めてきました。今年度は、さらに6年生の保護者の皆様が中心となり、傷みの激しいステージ右側幕を再度修理するため、1学期から学校に足を運んでくださいました。9月20日(火)には完成を迎え、体育館ステージに掲げることができました。今、児童は10月8日(土)の学習発表会に向け練習を繰り返しています。学習発表会を迎えるに当たり、その陰には、多くの方々の厚意がこめられていることをぜひ紹介したいと思います。

【お知らせ・お願い】

- 夏休みに各ご家庭にお願いしました雑紙回収では、大変お世話になりました。先日、事業主催者(県環境政策課)から参加校への謝礼として図書カード(5000円分)が贈呈されましたのでお知らせいたします。学校図書の購入に活用していきたいと考えております。
- 9月初旬、朝日写真社から、K・フロスピ株式会社の推薦を受けて、菫町小学校に掲示板を寄贈したい旨の連絡がありました。9月20日(火)に届いた掲示板を2階校長室前の新聞記事掲載コーナーに取り付けました。現在、子どもたちの新聞を活用した教育活動に役立てています。
- 2学期から市役所清掃管理課による資源物集団回収事業に登録しました。回収した資源物の種類に応じて1kgあたり2～5円で奨励金を出してくれる事業です。取り組みの第一歩として、牛乳パックの回収を試みたいと考えています。ご家庭で不要になった牛乳パックやジュースパックがございましたら添付写真のとおり、水洗い・乾燥後、紙袋に入れて学校へ持ってきていただけたらと思います。奨励金は、PTA会長と相談しながら子どもたちの活動に役立てていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【10月の行事予定】

2日(土)	野球部球納め会(本校校庭8:00)
4日(火)	全校朝会
5日(水)	学習発表会総練習
6日(木)	委員会活動
7日(金)	全校音楽
8日(土)	学習発表会
10日(月)	体育の日
11日(火)	振替休業日
12日(水)	外国青年来校 全校音楽
13日(木)	短縮2時間授業(下校9:50)
17日(月)	後期清掃班組織会
18日(火)	児童集会
19日(水)	全校音楽
20日(木)	全校音楽 委員会活動
21日(金)	連合音楽会(昼食準備)
25日(月)	午前授業(給食あり) 児童集会 青森市教育委員会学校訪問
26日(水)	集金日 外国青年来校
27日(木)	読み聞かせ クラブ活動
30日(日)	日曜参観日 全校なわとび検定 すくすく健康会議
31日(月)	振替休業日



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

28年度 青森市立荻町小学校学校だより 第7号 10月30日発行 文責：相馬（教頭）

「古人の思い～学習発表会 4年生が映し出したスクリーンから～」

校長 福士博司

10月8日の学習発表会では、どの学年もテーマをしっかりと見事に発表していました。発表にハプニングはつきものですが、それをすかさずカバーしていた姿にも感動しました。

さて、4年生の発表は「2分の1成人」を迎え、これまでの成長を振り返るものでした。スクリーンに映し出されたものを活かし、「よくここまで大きくなったものだ」と涙を誘うものでした。そのスクリーンに映し出された中に、こんな和歌がありました。早く切り替わり見逃した方もいると思いますので、この場をお借りして触れてみます。



「銀も金も玉も 何せむに 勝れる宝子に及かめやも」

万葉集に入集されている奈良時代の歌人、山上憶良の作品、「反歌」です。「反歌」とは、この前にある「長歌」を要約したもの、いわゆる内容をまとめたものです。それでは、長歌はどんなものかを紹介しましょう。

長歌：「瓜食めば子ども思ほゆ 栗食めばまして偲はゆ いくより来たりものそ目交いにもとなかりて安眠しなさぬ」

内容：「瓜を食べれば子どものことが思い出される。栗を食べればいっそう子どものことが懐かしく思い出される。いったい（子どもは）どこから来たものであろうか、目の前に子どもの姿がちらついて安眠できない。」

山上憶良は筑前の太宰府に赴任したと言われています。その地で妻・子どもと離れて生活します。「瓜や栗を食べるとわが子のことを案じて思い出される。いざ、寝るときになっても愛する子どもたちのことが目の前にちらついて熟睡することができない。」と、父としての、さらには、この和歌には記していませんが、妻を思う夫としての思いを和歌に綴ったのです。

その長歌の内容を要約するものとして、前述の「反歌」を記したのです。

反歌：「銀も金も玉も 何せむに 勝れる宝子に及かめやも」

内容：銀も金も宝石も（何の値打ちがあるだろうか）、わが子より勝る宝が他にあるだろうか。（いや、及ばない）」

世間では、我が子を虐待し死に至らせたり、ネグレクト（養育放棄）をし子を苦しめたりする親がいます。血を分けた子ども、またそうでなくても我が子だと認め、心と心が結びついているならば、絶対にありえないことであり、我が子のよりよい成長と社会的な独立を目指し、愛情を持ってしつけるのが「親」だと思っています。

山上憶良は、現代の父親からも共感される「父親像」となっています。親の自分が老いても、子どもが老いても、そのような親でありたいものです。例えば、マラソン選手として人生という42.195キロの道のりを走る我が子への「補給」を、必要と思われるときに適切に与えていきましょう。（私も4人の子どもの父親で、毎日案じています。）

【いざ出番】



10月21日(金)リンクステーションホール青森において開催された連合音楽会に全校児童が参加しました。高松初恵先生(平成26年度本校勤務)が伴奏するピアノの音色が会場全体を流れる中、丹羽加世子先生の指揮に合わせて全校児童が発表曲「変わらないもの」を美しい歌声で歌い上げました。本番に向けて練習を積み重ねてきた成果を存分に発揮することができた連合音楽会となりました。

【晩秋を迎え 体調管理を】

10月24日付けの保健だより「すくすく」の中に、「・季節の変わり目 体調管理に気をつけよう」のお知らせが掲載されています。9月と10月の欠席児童の中で体調不良による欠席の割合を比較すると、9月が44%(16人中7人)であるのに対して、10月は77%(22人中17人)と大幅に増加していることがわかりました。特に学習発表会後と連合音楽会後に体調を崩す児童が増えています。「手洗い・うがい」、「十分な睡眠と食事」を心がけて過ごすよう指導していきたいと考えておりますので、ご家庭の協力をお願いいたします。

【秋の夜長 読書に親しむ】



10月25日(火)の児童集会で、図書委員が読書週間(10/27~11/9)に合わせた計画を発表しました。委員一人一人が、推薦図書の紹介や読書クイズの実施日、図書郵便への応募を呼びかけました。今年度の推薦図書は「フレデリック(低学年)」、「世界のむかしばなし」、「イギリスとアイルランドの昔話」です。

【おめでとう】

各種コンクール、作品展等で多くの児童が入賞しました。

【防犯作品コンクール】

銅賞 4年 □□ 芽生
佳作 4年 □□ 健太、□□ 彪真

【MOA児童作品展】

佳作 1年 □□ 咲愛 4年 □□ 圭杜

【青森空港絵画コンクール】

銅賞 3年 □□ 零人

【東奥児童美術展】

準特選 5年 □□ 颯人
入選 4年 □□ 健太
佳作 4年 □□ 彪真
□□ 創太



【緑と花をテーマとした作品コンクール】

図画の部 準特選 4年 □□ 芽生
標語の部 佳作 6年 □□ 三大

【浅虫水族館図画展】

銅賞 1年 □□ 仁愛

【雑紙回収チャレンジ】

優秀校 代表 6年 □□ 光璃
4年 □□ 健太

【お願い・お知らせ】

- 9月29日付でお知らせしました第2回家庭教育学級を11月2日(水)10:30~11:30 2階地域ふれあいルームで開催します。青森市教育委員会少年育成チーム担当の先生を招き、スマートフォンやインターネットなどSNSの安全な使い方について講話していただく予定です。多数のご参加をよろしくお願いいたします。
- 10月12日(水)青森県環境政策課から小学生雑紙回収チャレンジ優秀校の通知が届きました。11月10日(木)表彰式(会場:ラ・プラ青い森)が行われます。本校からは校長先生、6年□□光璃さん、4年□□健太君が出席する予定です。2年連続の受賞は、皆様のご理解とご協力のおかげです。深く感謝申し上げます。資源物集団回収に取り組み2ヶ月が経ちました。皆様が不要になった紙パックを持ってきてくださるのおかげで現在245円の収入になりました。今後もよろしくお願いいたします。



【11月の行事予定】

2日(水)	家庭教育学級(10:30)
3日(木)	文化の日
5日(土)	PTA花壇整備・球根植え作業(9:00)
7日(月)	ほたて出前授業(全校給食なし)
8日(火)	児童集会
10日(木)	読み聞かせ
11日(金)	菘小っ子集会
15日(火)	全講朝会、地域懇談会
17日(木)	読み聞かせ、委員会活動 5年RAB見学
22日(火)	児童集会 幼・保・小交流会
23日(水)	勤労感謝の日
24日(木)	読み聞かせ
28日(月)	集金日 特訓
29日(火)	児童集会
30日(水)	JR出前授業(4年)



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第8号 11月30日発行 文責：相馬(教頭)

「落ち葉掃きボランティア」、「昭和56年度在籍児童数一覧黒板」 ～脈々と受け継がれる伝統、歴史を感じさせる遺物～

校長 福士博司

11月も中旬になると、イチョウの落ち葉は半端ではない量です。

今月初め、全校朝会の講話で「落ち葉を掃くのが荻小のボランティア活動の一つになっている」ことに触れました。そうしたらどうでしょう、次の日から企画委員会の児童に交じって、大勢の子どもたちが落ち葉掃きに参加するようになりました。

本校児童は7時10分には登校する児童もいて、子どもによっては7時15分には玄関から出て既に活動を始める子どももいます。しかし、さすがに雨や雪の日は活動できません。次の日の水分を含んだ葉っぱを歩道からかき出すのはとても苦労が要り、腕の筋肉もこわばってしまうことだってあります。また、風が強い日は、かき集めた葉っぱが飛んでいき、飛ばされた葉っぱを再び集めてはまた飛ばされる……、苦労が水の泡となってしまいます。竹箒が全員に行き渡るだけの数があるわけではないので、小屋からデレキを持ってきて、黄色く色づいた葉っぱを一枚一枚つまんで、ビニール袋に入れる地道に取り組む子どももいます。

21日の落ち葉は大きいゴミ袋で6、7袋は集まったでしょうか、かなり時間がかかりましたが、子どもたちは懸命に落ち葉をかき集めていました。学校の前だけでなく、「いだわしっきゃ」屋さんと「とど湯」さんの一部も掃かせていただいています。冬場の除雪にも言えることですが、両隣の分をわずかばかりの気持ち分の雪かきをしてさしあげる、そのちょっとした行為がお隣との関係が良好に保たれたということはありませんか。きちりと境界線を引くかのように自分側の雪をきれいにするよりは、お隣さんの部分を少しでも取り除けてあげよう、という心遣いを子どものうちから身につけてもらえればと思います。このイチョウの落ち葉掃きも、何十年も前から荻小っ子が続けてきたのだろうと、黄色い落ち葉を見つめながら昔に思いを馳せました。

学年	組	男	女	計	学年	組	男	女	計	学年	組	男	女	計
1	1	16	14	30	4	1	15	12	27	2	1	18	16	34
	2	15	14	29		2	14	15	29		2	15	33	
	計	31	28	59		計	29	29	58		計	34	49	
2	1	14	22	36	5	1	18	15	33	3	1	18	16	34
	2	15	20	35		2	18	15	33		2	16	32	
	計	29	42	71		計	36	32	68		計	34	48	
3	1	20	19	39	6	1	18	16	34	4	1	18	16	34
	2	21	18	39		2	16	16	32		2	16	32	
	計	41	37	78		計	34	32	66		計	34	48	
		総計		200			200		391					391

そんな折、偶然にも、2階教具室から「『在籍児童数一覧』(昭和56年度9月30日現在)」の黒板が出てきました。相馬教頭が見つけたものですが、チョークは当時のままの状態です。保管状態もよく、昭和56年9月30日の児童数が書かれていました。当時の校長は阿保以佐夫先生で、保護者の中にもそのお名前を記憶して方もおありでしょう。各学年2クラス、1年59名、2年71名、3年70名、4年58名、5年67名、6年66名の計391名でした。今は45名で、当時のひと学年にも満たない児童数になってしまいました。30数年前、この界隈にたくさん

の子どもたちが住み、生活し、校舎内に歓声が響き渡る小学校だったのでしょ。

荻町小学校の卒業生は至るところで活躍し、名声を博しております。そのような伝統・歴史のある学校で、学び、自己を高めていく現在の子どもたちも先人に引けをとらないぐらい努力し、心豊かで思いやりの心を磨き合って生活しています。

* 次年度の入学予定者数は、当初20人を超える数だったのですが、現時点では11名。全校児童は50名。今年度より5名増えることとなります。より増えてさらに活気あふれる学校になればと思っています。

* 〈訂正〉第7号の「長歌」で1字抜けていました。「・・・いづくより来たりしものそ」の「し」が入ります。

【PTA活動コーナー】

【SNSトラブルから子どもを守る】



11月2日(水)青森市教育研修センター少年育成チーム指導主事 長尾 信先生をお招きして家庭教育学級を開催しました。トラブルの現状を聞いた参加者から驚きの声が上がっていました。改めて家庭でのルールづくりの重要さに気付かされました

「改めてネット・携帯でのトラブルの現状を知りました。自分の子は…とは思っていますが、トラブルに合わないようルールを決めコミュニケーションをとり見守っていきたいと思いました。

(参加者の感想から)」

【秋の花壇整備を行いました】



11月5日(土)曇り空の中、17名(保護者6名、児童3名、地域住民1名、北東ロータリークラブ2名)が参加して秋の花壇整備作業を行いました。役目を終えたマリーゴールドやサルビア等を抜き取り、花壇には中和剤と肥料を巻いて来春の苗植えに備えました。

また、ロータリークラブや茶屋町の千代谷さんから寄贈されたチューリップの球根をプランタに植え替え、冬眠のため体育館ピロティーに移しました。たくさんの方々のご協力を得て整備することができました。ありがとうございました。

【体験学習コーナー】

【郷土のほたてに親しみました】



11月7日(月)青森県ほたて流通振興会主催「青森ほたてキャラバン隊・出前授業」を行いました。むつ湾で養殖しているほたての様々な事柄を学習した後、1～4年生が活ほたての貝むき体験に挑みました。続いて3、4年生がほたてカレーづくりに挑戦し、11名の支援ボランティアの応援のもと、参加者74名分のカレーを完成させることができました。当日は青森テレビが取材に訪れ、子どもたちの活動の様子をカメラに収めていました。この様子は夕方の番組の中で放映されていました。郷土の味に堪能した一日となりました。

【生きているだけで100点満点!】

11月25日(金)助産師さんを講師に招き、4～6年生を対象に「いのちの授業」を行いました。保護者の皆様も多数参加し、「子ども・親の視点」から命を考え、その大切さを共有しました。

「赤ちゃんもお母さんもがんばっていることがわかってすごいなあと思いました。」(児童の感想から)



【放送局を見学しました】

11月17日(木)5年生が青森放送を見学し、ラジオ番組の製作等、放送局の仕事について学習してきました。アナウンサーからの問いかけに対して、はきはきと元気な声で受け答えする様子がラジオ番組で放送されました。



【児童会行事コーナー】

【今年も大いに盛り上がった葛小っ子集会】

今年も全校のみんなと仲よくするために3～6年生がゲームを工夫し、人の役に立つことの喜びを味わったり、互いに譲り合ったりする気持ちを育てることを目的とした「葛小っ子集会」が11月11日(金)開催されました。子どもたちに大人気のこの行事は葛町小の名物とも言えるもので、下級生をいたわりながら上級生がゲームを展開する姿は実に微笑ましい光景でした。



【地域連携コーナー】

【有意義な情報交換ができました】

11月15日(火)第2回地域懇談会を開催しました。25名が参加する中、浦町中と浪打中からは生徒の頑張っている様子が、堤町交番からは学区の治安情報が、交通安全協会からは学区の交通安全情報が紹介されました。各町会からは除雪に係る意見交換がなされ、実り多い懇談会となりました。



【園児の皆さんと交流しました】

11月22日(火)1・2年生が蛸貝保育園・王恵幼稚園・青森保育所との交流会を行いました。歓迎式の中では、アニメ・トトロの挿入歌「さんぽ」をみんなで歌った後、1年生が音読を、2年生が縄跳びを披露しました。園児の皆さんが目を見守り、食い入るように見ていた姿が印象的でした。最後は全員で記念撮影をし、玄関で見送りました。立派なお兄さん役、お姉さん役をやり遂げた1、2年生でした。



シリーズ:特別支援教育(第1回「目的」について)

今日、特別支援教育の考え方は日本中に浸透し、全ての学校が障がいをもつ子どもへの適切な指導と必要な支援に努めているところです。葛町小学校もまた、児童理解に力を注ぎ、一人一人に応じた指導と支援の在り方を日々追求しています。このような取り組みを多くの方々に知っていただきたくシリーズ化を試みました。

1回目は、特別支援教育がめざす目的について紹介します。それは、〈障がいによる困難を改善、克服して自立や社会参加ができるようにすること〉にあります。

これから数回に分けて特別支援教育の取り組みを紹介していきたく考えております。

【12月の行事予定】

1日(木)	委員会活動
2日(金)	第4回参観日 放課後子ども教室イベント
6日(火)	全校朝会 第2回漢字・計算チャレンジ
8日(木)	クラブ活動(3年生クラブ見学)
9日(金)	全校なわとび検定
12日(月)	外国青年来校
13日(火)	全校朝会 読み聞かせ会
14日(水)	集金日
15日(木)	清掃週間～21日 4～6年5時間授業
20日(火)	児童集会
21日(水)	大清掃 外国青年来校
22日(木)	2学期終業式



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第9号 12月21日発行 文責：相馬(教頭)

雪道を譲る笑顔

校長 福士博司

全校朝会で子どもたちに向けてこんなお話をしました。

去年の冬、雪がたくさん積もっていた市民病院前の歩道での出来事です。

その日、病院でお医者さんに診てもらい、向かいの駐車場にいくまでの歩道には、人が一人歩けるだけの道しかなく、その道も両側が雪で覆われていて、向こう側から来る人とすれ違いもできないほどでした。

すると、向こうから七十才近い男性と、その奥さんと思われる二人連れがやってきました。自分はどちらかという人に道を譲る方ですが、道の狭さを気にしながら、自分でいけるだけ行こう、どこかですれ違えることができるさ、と思って歩き続けました。お相手と十メートルぐらいに近づいた時、その男性が突然立ち止まりました。そして、「どうぞ」と手招きしています。それだけではありません、にこっと素敵な笑顔で導いてくれたのです。私は急ぎ足で進み、すれ違いざまに「ありがとうございます」とお礼を述べました。すると、男性は「どういたしまして」と笑顔で返してくれました。

男性はとてもおしゃれな服装をしていました。「どうぞ」「どういたしまして」の言葉に添えられた笑顔は、本当に根っからの紳士・ジェントルマンと思える上品さで輝いて見えました。心がおしゃれだと感じました。

私はすがすがしさを感じると同時に「恥ずかしい！」と思いました。あれは本当は私が譲るべきだったのです。年上に道を譲っていただいたことのあるありがたさを感じる反面、逆に相手に道を譲ろうとしなかった自分が恥ずかしくてたまらなかったのです。

そして、優しい言葉に添えられた男性の笑顔、あの笑顔こそ、あの方の心なのだ、紳士とは、心の中からにじみ出てくるものなのだと知らされました。

おはようございます、ありがとうございます、すみません……、生活にはお礼や挨拶などの礼儀がつきものです。そして、その人の本当の心は、表情に表れるものなのです。

みなさん、恥ずかしいことはありません、あなたの心が表れる笑顔と言葉で人と接するようになりましょう。私もその日から自分を鍛え、心を磨くように心がけています。「にこっ」「にっこり」。冬でも心がぼかぼかしますよ。「心のおしゃれ」を勧めます。笑顔も優しさもお金はかかりません。無料。でも、とても価値が高い・値打ちのあるものなのです。 (12月6日 生活科室にて)

この話の中で出てくる「心のおしゃれ」という語句について、理解していただけるとおり、うわべで飾り立てた心のおしゃれではなく、それぞれの心底から自然と湧き出てくる優しさや思いやりが生み出すおしゃれ、言葉を変えれば「心からの気遣い」を意味します。心がこもっていない言葉や行為も、心がこもった言葉や行為も、どちらも相手に心が伝わります。ただ、好意的に伝わるのがどちらかはお分かりのとおりです。言い方を変え、心配りをし、良好な人間関係の中で穏やかに生活できればよいです。

年末を迎え、今年1年間、大きな怪我・病気もなく、元気で無事に過ごしたお子さんの成長と努力を褒めてあげてください。そして、新年が皆様にとって、確かに成長し続ける荻小っ子にとって素晴らしい年となりますよう。よいお年をお迎えください。



FOTOSARCH

k2568530 www.fotosarch.com ©

【PTA活動コーナー】

【PTA通学路除雪作業のお知らせ】

1/14(土)3学期始業式を前に学校周辺の通学路除雪作業を実施する予定です。11/15(火)の地域懇談会で除雪の取組が話題に出されたことを受けて、今回は各町会へも協力依頼をすることとしました。当日はより多くの方々の参加を得ながら通学路の安全確保に努めていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

- 実施日 平成29年1月14日(土) 9:00～10:30
- 葛町小学校玄関集合
- 学校周辺の通学路の除雪 ○準備物スコップ(雪ペラ)

【校外安全委員会による登校指導】

校外安全委員会が3学期が始まる日に合わせた登校指導の参加者を募集しました。ご協力をいただいた皆様に先日実施計画を配付したところです。厳冬の早朝での登校指導となりますが、子ども達のために指導して下さることに深く感謝申し上げます。なお、本校職員も一緒に安全指導にあたる予定です。

- 期間や実施時間帯等は以下のとおりです。
- 1/16(月)、17(火)、18(水) 7:20～7:50
- 指導場所(青柳橋、甘栄堂さん前、元トレンド脇、青柳公園)

【全校児童が参加した教育活動から】

【学習の定着をめざして】



12/6(火)第2回漢字・計算チャレンジを行いました。11/25～12/5の特訓期間中は、出題範囲の問題を熱心に解き、自分が決めた目標点数をめざしていました。

第1回同様、この取組は本校児童の学習意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容を定着させる上で大きな効果を発揮しています。

今回のチャレンジで培った集中力と持続力を冬休み中の家庭学習でもぜひ発揮してほしいと願っています。

【第4回全校なわとび検定】



子ども達は漢字・計算チャレンジの練習を重ねる一方、登校後の体力づくりや休み時間には元気に体育館へ向かい、なわとび練習に励んでいました。12/9(金)2学期最後のなわとび検定が行われました。各種目の検定がコールされると進級めざし果敢に挑戦しました。見事進級が叶った児童もいれば叶わなかった児童もいましたが、悔しさをバネに気持ちを切り替えられるところが葛小っ子のたくましさです。私たちはこのたくましさをこれからも大切に伸ばしていきます。

【地域連携コーナー】

【第4回参観日】



12/2(金)の参観日には、これまで同様多くの皆様にお越しいただき感謝申し上げます。今回は集金方法の変更(次年度から口座振替実施)とSNSトラブルから子どもを守ることを最優先にして説明しました。

特に、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機の正しい使い方については、青森市教育委員会から、学校と家庭、地域が連携して指導にあたる旨の通知がありました。私たちは緊急課題と受け止め、トラブルの未然防止、早期発見に努めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【雪よせ場としての学校開放について】

今年も学校の校庭を雪よせ場として開放いたします。「広報あおもり」にも掲載されましたように、次の点をご理解の上、ご活用ください。

- ◇本校の教育活動に支障をきたさないこと
- ◇スノーダンプやそり等人力で搬入すること
- ◇校庭の指定された場所のみによせること



この3点を踏まえて、本校では校庭バックネットの内側を雪よせ場に指定しました。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

シリーズ:特別支援教育(第2回「障がい」について)

2回目は、特別支援教育のねらいにある「障がい」について紹介します。一般的に「障がい」は、〈身体、知的、精神等〉に分けられております。青森市内の小中学校の多くは、自閉症・情緒障がいを対象とした特別支援学級または知的障がいを対象とした特別支援学級を開設しています。「自閉症・情緒障がい」という言葉を初めて目にする方がいるかも知れませんが、これには自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、言語障がい等が含まれます。児童の自立や社会参加に必要な支援と適切な指導が私たちの使命です。ですから、児童の実態から短期目標(例えば3ヶ月先にできるようなってほしいこと)や長期目標(例えば1年先に身に付けたいこと)を立て、今必要な支援・指導の内容を明らかにして日々の教育活動を展開しています。また、学習の場として、通常学級のほか、特別支援学級や特別支援学校がありますが、障がいの程度や学校生活の状況、保護者の願い等を学校と保護者が協議して進路を決定する場合があります。子どもの自立と社会参加を第一に考えた時、保護者と学校の強い協力関係、そして両者の粘り強い支援・指導が不可欠になります。

【1月の行事予定】

5日(木)	4年生学習会(8:30～11:30)
6日(金)	4年生学習会(8:30～11:30)
8日(日)	市PTA連合会新年交礼会
9日(月)	成人の日
10日(火)	4・5・6年生学習会(8:30～11:30)
14日(土)	PTA通学路除雪作業(9:00～10:30)
16日(月)	3学期始業式 登校指導
17日(火)	登校指導 給食開始 スキー学習開始
18日(水)	登校指導 学力テスト(全学年)
19日(木)	学力テスト(3～6年) 委員会活動
20日(金)	租税教室(6年)
24日(火)	児童集会
25日(水)	集金日 避難訓練
26日(木)	読み聞かせ 外国青年来校 委員会活動
27日(金)	浦町中入学予定児童体験授業(6年生)
31日(火)	全校朝会

【おめでとう】

「文集あおもり」 ◇作文の部 準特選 2年 □□ 凜 入選 5年 □□ 颯人
 ◇詩の部 特選 3年 □□ 花音 準特選 4年 □□ 健太
 入選 2年 □□ 悠愛 4年 □□ 仰基 5年 □□ 勇羽、□ 涼也、□□ 草太
 6年 □□ 元輝、□□ 光璃、□□ 李和



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第10号 1月31日発行 文責：相馬(教頭)

次へのバトンパスの三学期（3学期始業式式辞から）

校長 福士博司



あけましておめでとうございます。

2017年、平成29年が始まりました。皆さんは今年のめあて、目標を持ちましたか。「今年はこんなことをがんばろう。自分にとってこんなよいことをしよう」というものを決めましたか。今年、わたしは「荻小のみんなが明るく楽しくすくすくと育っていけるように、先生方に負けないようにもっと力を出そう」と思っています。元気に明るく楽しく生活しましょう。

さて、今日から3学期がスタートしました。ホップ・ステップ・ジャンプという言葉がありますが、3学期はジャンプ、次につなげる跳び上がる期間です。今年の自分の花を大きく咲かせる時期です。リオデジャネイロオリンピックで、日本男子が400mリレーで銀メダルを獲ったのは去年の夏、まだ記憶に新しいです。体が小さめで力も外国人にやや劣る日本選手が工夫したのはバトンパス。バトンを次の選手に下から渡すという工夫をして、実力を発揮して銀メダルを獲りました。みなさんも運動会でバトンを渡したので分かるはずです。

皆さんの3学期の生活をバトンパスに例えるのなら、3学期は今年度のあなたから29年度のあなたにバトンを渡す期間です。今年度自分が育てたきれいでりっぱなバトンを、来年度の自分にしっかり渡してください。自分を磨く時間は3月まで。わずか2ヶ月間しかありません。あっという間に時間は過ぎ去っていきます。勉強でもスポーツでも生活でも、今年度できなかったことをきちんとできるように自分を鍛えて、4月から始まる29年度の自分にバトンを渡してください。

そして、もう一つバトンを渡すところがあります。それは、自分たちより一つ下の学年の人たちに自分たちの役目を渡すことです。特に6年生は、5年生に荻町小学校のリーダーのバトンを渡す大切な役目があります。最後の仕事、それはリーダー学年としての堂々とした姿・活動です。よろしくお願いいたします。ほかの学年も下の学年にバトンをしっかり渡してください。

最後に、皆さんにとってよい年であるようお祈りします。

3学期、元気な挨拶、明るい笑顔で寒さを乗り切りましょう。

*保護者、地域のみなさん、各地でご活躍の卒業生のみなさん、遅ればせながら、新年も宜しく願いいたします。例年になく小雪で、生活にさほど苦勞を感じさせない青森市です。いつもなら、交差点の角に大きな背の高い雪の塊が積み上げられますが、今年はほとんど見られず、今のところ児童の登下校に支障はありません。今後もみなさんのお力をいただきまして、安全・安心して通える荻小にしていきます。

*全国各地でご活躍の本校卒業生のみなさん、青森にお立ち寄りの際は、ぜひご来校ください。昨年も数名の方々が「校舎は変わったが、懐かしくて来ました。」と訪問されていました。いつでもお越しくください。



【PTA活動コーナー】

【通学路の確保ができました】



14日(土)9:00から総勢29名が参加し、トレンドさん交差点～石森橋～青柳橋区間の除雪作業を行いました。前日降った新雪と凍った雪塊が混在する雪山を見かねた石澤博労町会長がご自宅の除雪機を稼働して青柳橋西側の横断歩道を確保してくださいました。また、最後に石森橋の歩道を全員で雪かきし、堤川を渡って登下校する3名の通学路を確保しました。ご多用の中、ご参加いただき感謝申し上げます。また、そば「いりしめ」のご主人は店用駐車場の除雪の際、雪山が横断歩道にかからないようご配慮くださっています。

【早朝の見守り ありがとうございます】

3学期始業式が始まる16日から18日の3日間、PTA 校外安全委員会が中心となって登校指導を実施しました。おかげさまで、子ども達は事故なく安全な学校生活のスタートを切ることができました。一方、学区在住の須郷さん(交通安全協会堤支部長)は青柳橋交差点に立ち、厳冬の日も猛暑の日も毎日葛町小学校の児童が登下校する様子を見守ってくださっています。また、山田颯貝町会長は葛町小学校職員が出勤する前に、校舎裏にある駐車場出入口の雪寄せをしてくださっています。葛町小学校は子ども達だけでなく、職員もまた地域の方々から見守られています。ありがたい学校だとつくづく実感いたします。

【教育活動の様子から】

【学習のまとめに入ります学力テスト】

18日(水)、19日(木)学力テストを実施しました。学習した内容の定着度を調べる大切なテストです。結果が届き次第、一人一人の状況を精査し、学習内容を身に付けて進学・進級させるよう指導に努めていきます。なお、2月21日(火)参観日の学級懇談会で担任から詳しい説明がありますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

【3学期の体力づくりはスタートしました】



冬の体力づくりはスキーではありません。葛町小学校は伝統的になわとびに取り組んでいます。20日(金)から3学期のなわとびがスタートしました。今年度最後のなわとび検定が2月17日(金)に行われます。6年生は最後の検定です。6年生だけでなく全校児童が悔いのない記録を残してほしいと思います。

【スキ学習ーに励んでいます】



雪が少ない今冬、大山さんのご尽力により24日(火)校庭にスロープが完成しました。現在、子ども達は水を得た魚のように生き生きと滑走を楽しんでいます。

2月2日(木)3～6年生が参加するスキー教室では、全員が雪に親しみ、けがなく無事に帰ってくるよう安全には十分気を付けて引率して参ります。



【命を守る訓練】

25日(水)火災を想定した避難訓練を実施しました。今年度はこの他に地震・不審者から命を守る計4回の訓練を行ってきました。葛町小学校では、地震は「4階家庭科室への垂直避難」、火災は「校舎外への避難」を徹底し訓練しています。どの訓練にも共通していることが「指示を聞き、判断し、安全に行動する」ことです。避難訓練日だけに限らず、毎日の授業においても【聞く→判断する→行動する】ことができる力を培っていきたく考えています。

【おめでとう】

【青森市小学校家庭科作品展】

- 5年の部 金賞 □□ 颯人
 入選 □□ 勇羽、□□ 草太
- 6年の部 金賞 □□ 光璃
 入選 □□ 元輝、□□ 三大

【棟方志功賞版画展】

- 銀賞 4年 □□ 健太
- 入選 5年 □□ 羽勇

【CGC 全国児童画コンクール】

- 優秀賞 4年 □□ 迎基
- 入選 2年 □□ 悠愛、□□ 愛果
 3年 □□ 迦月

【青森市小・中学校美術展】

- 版画の部 入選 1年 □□ 白琉、□□ 里緒
 4年 □□ 芽生
- デザインの部 入選 4年 □□ 健太 5年 □ 涼也

【日専連全国版画コンクール】

- 入選 1年 □□ 羚玖 2年 □□ 悠愛 3年 □□ 綾佳
 4年 □□ 由基 5年 □ 涼也 6年 □□ 李和

シリーズ:特別支援教育(第3回「障がい」への配慮について)

3回目は、障がいをもっている児童に対して、学校ではどのような対応をしているのか紹介します。この対応を「特別な支援」または「合理的配慮」と呼んでいます。最近「合理的配慮」が一般的に使われています。

授業中、感情のコントロールが制御できずに大声をあげた場合には、本人のペースで活動し、落ち着くまでクールダウンできる時間と場所を確保することがあります。また、全体に説明した直後でも、絶えず質問し、落ち着いて作業を進めることが困難な場合には、事前に活動の手順が目につく所に掲示して本人が確認できるようにすることがあります。

このように、学校では個々の障がいについて事前に保護者と担当が情報を交換・共有し、ふさわしいと考える最善の配慮を準備した上で指導にあたっています。また、障がいをもっていることがいじめや差別につながらぬよう、全ての学校で人権教育を位置付けた指導を行っています。

【2月の行事予定】

1日(水)	木と曜日交換 外国青年来校 委員会
2日(木)	水と曜日交換 スキー教室 読み聞かせ
6日(月)	学校評議員会
7日(火)	全校朝会
9日(木)	読み聞かせ 委員会
11日(土)	建国記念日
13日(月)	入学説明会
14日(火)	全校朝会
15日(水)	外国青年来校 雪上運動会(1～3年生)
16日(木)	委員会組織会(2～5年生) 6年生5時間授業
17日(金)	なわとび検定
21日(火)	児童集会 参観日
22日(水)	集金日
23日(木)	委員会 6年生5時間授業
28日(火)	全校朝会



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第11号 3月 1日発行 文責：相馬(教頭)

締めめの3月

校長 福士 博 司

2月28日、全校朝会でのお話、最初の話は、日の出、日の入りのことでした。夕方、厳冬期より日が長くなり、朝は明るくなるのが早くなりました。確かに春が近づいてきています。寒さももう少しの辛抱ですと伝え、講話を始めました。

さて、今日から弥生、3月です。桃の節句を間近にし、お雛様を飾っているご家庭もあることでしょう。子どもたちの健やかな成長を祝い、3月3日の雛祭りや5月5日の端午の節句を迎えることかと思えます。子どもたちにしてあげたことが、親にも子どもたちにとっても生涯の思い出となり、子どもたちもまたわが子に同じ思いをしてあげることになるものです。言い換えると、親の考えは子どもの考え方・価値観に影響を与えるものですが、その責任は大きいのです。SNSに関して親が詳しく知らずして子どもにスマホを持たせるがごとく、子どもを育てるにしても親が育てずして子どもがよりよく育つのはなかなか難しいことなのでは、いやいや、親は子育てをしながら親として成長していくものだと言いつつ聞かせていた自分を思い出します。



先月、雪上運動会がありました。1, 2, 3年生が参加し、3年生がリーダーとなり立派に運営し、様々な種目を楽しんでいました。運動会の最後の感想発表で、1年生代表のSさんが、「楽しい雪上運動会をありがとうございました。」の感謝の気持ちを3年生に伝え発表を締めくくりました。先輩を労い、感謝の気持ちを伝えるまでに成長したなと感動したのを未だに覚えています。

次の日の朝、朝の出迎いで児童玄関の外に立っていたら、2年生のYさんが登校してきました。「昨日の雪上運動会はどうだった?」「楽しかったです。」「今日は何か楽しいことがあるかな?」「あります!」何か楽しそうな行事があったか思い浮かばず疑問に思った私はさらに尋ねました。「何が楽しみなの?」すると、Yさんは「委員会活動が楽しみです!」と答えました。今まで経験しなかった委員会をバトンタッチされて初めての活動、新委員会組織会の日だったので。未知の世界、未知の体験にわくわくし、意欲を持って活動しようとする児童は2年生に限ったことではありませんが、これまでゆっくり登校していたRさんに「最近、早い時間に学校に来るね。」と声をかけたら、「委員会があるんです。」と答えました。このやる気は学校を活性化させるだろうと確信しました。幼いと思っていたのですが、幼いながらもしっかりと自己があって、自己の中でしっかりと考え、やるべきことを意識して実践していることに感心しました。自己有用感を得て順調にしっかりと育っています。



どの児童もこの1年間で成長しました。先日の参観日の全体会で、「この1年のお子さんが成長した、変化したと思うことを3つ以上挙げてください。」とお尋ねしました。回答は伺いませんでしたが、全体会に参加されなかった保護者のみなさんも3つ以上見だし、お子さんに伝えてみてください。考えるところが大きいと思います。

日差しが暖かくなってきましたが、朝晩の冷え込みはまだまだ強いです。インフルエンザのピークは過ぎ去ろうとしています、お体を大切にしてください。そして有意義に締めめの3月を終えたいものです。

そして、6年生には、思い出深い卒業式となるよう最後まで尽力してもらいたいです。「終わり良ければ全て良し」、本校の卒業生の場合は「終わりも良ければ全て良し」です。

【PTA活動・ボランティア活動コーナー】

【資源物回収ありがとうございました】

今年度の2学期からご家庭で不要になった紙パックの資源物集団回収を始めましたが、2/24日現在の収益が1,168円になりました。紙パックを重量に換算すると約236kgになりました。来校するついでに持ってきてくださる方や子どもに持たせてくださる方等、多くの皆様の温かな思いが込められた「236kg」です。2/16(木)2月分の回収を終えた翌日にはリサイクル専用ボックスに新たな紙パックが入っていました。感謝の限りです。このような支援者が本校にはたくさんいることを誇りに思います。

【心を耕してくださった読み聞かせ】

2/9(木)本校の読み聞かせボランティアである高橋さん、樋口さん、坪田さん、藤田さんによる今年度最後の読み聞かせが行われました。毎年最後の読み聞かせは卒業学年の教室で行われるのが恒例となっています。進学を間近に控えた6年生のために心温まる作品(「詩集「ありがとう」(サトウハチロー作)他3作品)を朗読し、メッセージを残してくださいました。これまで8年の間、本校の子どもたちは読み聞かせという形式で多くの作品に出会うことにより、夢膨らませ豊かな心情を培ってきました。

【教育活動の様子から】

【最高のスキー教室になりました】

朝から厳しい冷え込みが心配された2/2(木)、3~6年生がスキー教室に参加しました。目的地モヤヒルズは、下界の心配をよそに絶好のコンディションで私たちが乗ったバスを迎えてくれました。

葛西葛町町会長や鎌田学校支援員方のご指導により、参加児童全員がリフトを体験し、けがなく無事に閉校式を終えることができました。

スキー学習で賑わった校庭も2/28にはスロープが崩され、春を待つ景色へと変わりました。



【なわとび検定の結果】

2/17(金)今年度最後のなわとび検定が行われました。その結果、21名が昇段によりメダルまたは楯を獲得しました。子どもたちの体力づくりから始めたなわとびですが、すっかり日常生活の一部になっています。次年度もたくましい体づくりに励んでいきます。



【新年度11名の仲間が入学します】

2/13(月)新入児童の保護者を対象とした入学説明会を開催しました。4月から11名の1年生が本校の門をくぐります。初めて小学校へ入学させる7名の方々は特に熱心な表情で説明に聞き入っていました。新年度も新入児童を加えた全校児童49名が安全に、安心して通うことができる学校づくりを進めて参ります。

【おめでとう】

【青森市小・中美術展】

○版画の部 入選 1年 白琉 里緒
4年 芽生
○デザインの部 4年 健太 5年 涼也

【棟方志功大賞県下小・中学生あおり版画まつり】

入選 1年 咲愛
4年 仰基

【読書100冊チャンピオン】

1年 里緒 白琉 咲愛 仁愛 鈴玖
2年 悠愛 光 凜 柚希乃
3年 零人 4年 芽生 5年 勇羽

シリーズ:特別支援教育(第4回再考・特別支援教育の目的)

これまで3回にわたって特別支援教育の現状を紹介してきましたが、今回が最終回です。障がいをもつ人への差別や中傷のニュースが流れる度に憤りを覚えます。自分と違う相手を受け入れず排他的な行動に出ることが改善されるとしたら、特別支援教育を取り巻く多くの問題が解決できるように思います。国際化を迎えようとしている今日、多様性を認め合える資質能力を身に付けた子の育成は急務の課題です。

葛町小学校は次年度、目指す子ども像の一つを「互いのことを考え行動しよう(とする子)」と位置付けました。小規模校のよさを最大限に活かして、児童一人一人の理解に努め、多様性を認め合う芽を育てることに取り組んでいきたいと考えています。

学校や地域社会の中で特別支援教育の目的を達成していくために、何が必要であるか問題提起することでシリーズを終了したいと思います。

【3月の行事予定】

1日(水)	漢字・計算チャレンジ 外国青年来校
2日(木)	委員会活動 清掃週間~8日
3日(金)	6年生を送る会
7日(火)	全校朝会
8日(水)	外国青年来校 大清掃
13日(月)	卒業式全体練習
14日(火)	児童集会 卒業式全体練習
15日(水)	卒業式全体練習
16日(木)	卒業式予行
17日(金)	卒業式全体練習
18日(土)	卒業証書授与式
20日(月)	春分の日
21日(火)	振替休業日
23日(水)	給食最終日
24日(金)	修了式 離任式



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第12号 3月24日発行 文責：相馬(教頭)

28年度の終わりにあたり

校長 福士 博 司

3月は別れの季節でもあります。



今月18日、第89回卒業証書授与式が行われ、6名の児童が立派に荻町小学校を卒業しました。これまでリーダーとして活躍してきた6年生と別れるのはとても悲しいことですが、卒業して一つ新たな世界に羽ばたき活躍するのだと思うと、また踏ん切りがつくものです。卒業生と在校生の心温まる交流の中で行われた、少人数の「小さな学校の大きな卒業式」でした。卒業生は中学校生活に希望と抱き、4月からの新しい生活を待ちわびていることと思います。

また、24日は修了式。この1年間精一杯学校生活で学び、人と交流し逞しくなった児童全員が今年度の課程を修了できることをとても嬉しく思います。また、一人一人の輝く笑顔を毎日を見て、こちら元気をもらい生活できたことに感謝します。外部の方々からお褒めの言葉をいただいておりますが、本当によく育っている荻町小の児童です。

28年度は文武両道で活躍しました。野球では橋本小学校との合同チーム「青森中央クラブ」として出場し、大会で第3位となりました。また、文芸や図画の各種コンクールでたくさんの児童が受賞しました。また、定期的に行われている「漢字・計算チャレンジ」では、個々が設定した目標を達成し、基礎・基本の定着に努めました。また、日々のボランティア活動やあいさつ運動などで豊かな心を高めるとともに、少人数だからこそ子ども同士が至るところで触れ合う機会をもつことができました。ひとえに、みなさんの支えがあつてのことと感謝申し上げます。

さて、少人数という言葉が出ましたが、本校は昔、少人数ではない学校だったことを学校だより11月号でお知らせしました。2階教具室から出てきた『在籍児童数一覧』（昭和56年度9月30日現在）の黒板から、当時の児童数が各学年2クラスずつの計391名だったことが分かりました。現在、市内に小学校が45校ありますが、当時の391名を上回る児童数の学校は15校しかありません。いかに子どもが減っているのか、また、若い世代が減っているのかが窺い知ることができます。

29年度の本格スタートは4月3日からです。新入生11名、今年度よりも児童数が増え、全校児童50名で始まることとなります。新入生は多少の不安を抱きながらも小学校生活に夢を膨らませ、ワクワクドキドキしていることでしょう。また、在校生も新学年を前にし、新たな意欲を持って準備に取りかかることでしょう。

今年度以上に、荻小っ子がきらきらと目を輝かせ、明るい声で満ち溢れた学校生活を送れるよう、教職員全員、「前を向く仲良し隊」で尽力します。

最後に、卒業式の式辞で卒業生に贈った一節を添えて終わります。

- ・昔の中国に孔子という学者がいました。その弟子である子貢が孔子に尋ねました。「先生、たった一語で、一生それを守っていれば、間違いのない人生が送れる、そういう言葉がありますか？」孔子は答えました、「それは、恕(じょ)ではないかな。己の欲せざる所は、人に施すことなかれ。」と。(＊恕＝思いやりの心)
- ・念願の横綱に昇進した稀勢の里関のように、辛いことがあっても決してくじけず腐らず、努力を積み重ね、目標を達成してください。

1年間、お世話になりました。ありがとうございました。

【PTA活動コーナー】

【平成28年度PTA活動の成果と課題について】

6日（月）PTA執行部会を開催し、今年度取り組んだ活動の成果と課題を話し合いました。齊藤会長のリーダーシップの下、PTA会員の参加率向上が優先課題であることを参加者全員で確認しました。そこで、これまでの組織の見直しや活動内容の精選について協議しました。

14日（火）には、第2回総務委員会を開催し、広報委員会と校外安全委員会による活動報告と執行部から提案された平成29年度の組織づくり案についての質疑応答が交わされました。

23日（木）執行部会では、新年度PTA総会で提案する原案をまとめる予定です。会員の皆様には多大のご支援とご協力をいただいた平成28年度でした。深く感謝申し上げます。次年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。今年度のPTA功労者を紹介します。

□□ 竜生さん、□□ 美紀子さん（6年 □□ 三大君）、□□ 真由美さん（6年 □□ 光璃さん）
永年にわたり菫町小学校PTA活動の発展に尽くしてくださいました。心から感謝申し上げます。

【教育活動の様子から】

【6年生を送る会】



3日（金）在校生が6年生への感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」が行われました。会を盛り上げようと2年生は招待状作りを、3年生は会場の飾り付けと花のアーチ作りを、4、5年生はクイズなど運営全般の準備を担当しました。ゲーム「王様ジャンケン」では、低学年の屈託のない笑顔が会場を和ませてくれました。3年生以上は楽しい中にもきびきびとした動きが印象的で、次の菫小を背負っていく気概が感じられました。それぞれの学年がそれぞれの思いをもって6年生への感謝を伝えることができました。

【おめでとう】



今年度から新聞教育にも力を入れてきた本校では、校長室前廊下に「新聞コーナー」を設置し、子どもたちが自由に新聞記事を読み、気付いたことや感じたことを新聞の切り抜きと一緒に掲示して、全校児童で読み合う環境を整備してきました。卒業式予行を済ませた体育館で、積極的に参加した児童の表彰式を行いました。

2年 □□ 光、□□ 凜、□□ 悠愛、□□ 柚希乃
3年 □□ 綾佳
4年 □□ 仰基、□□ 芽生、□□ 拓海
5年 □□ 優弥 6年 □□ 三大

【これまでのご厚情に感謝申し上げます】

この度の教職員定期異動に伴い、本校から3名の教職員が転出することとなりました。在任中は、保護者及び地域の方々からひとかたならぬ御支援と御厚情を賜り、深く感謝申し上げます。

新任地においても、菫町小学校と同様、全力で子どもたちの指導に取り組む所存です。

教諭 川村 浩（青森市立西田沢小学校へ）
教諭 川浪 小百合（青森市立橋本小学校へ）
事務主任 笹森 裕子（青森市立浪館小学校へ）

【4月の行事予定】

6日（木）	入学式準備（新5,6年生出校 9:30～11:30）
7日（金）	新任式、始業式、入学式 1年生交通安全指導（11:20）
10日（月）	登校指導 2～6年生給食開始 1年生下校指導（10:30）
11日（火）	登校指導 全校朝会 尿検査 体位・聴力・視力検査（1～3年） 1年生下校指導（11:30）
12日（水）	登校指導 地区別組織会 1年生給食開始 体位・聴力・視力検査（4～6年）
13日（木）	色覚検査（4年生）
14日（金）	耳鼻科検診 交通安全呼びかけ（4～6年）
17日（月）	避難訓練
18日（火）	全校朝会 全国学習状況調査（6年生） 知能検査（2,5年生）
20日（木）	委員会活動
21日（金）	参観日、PTA総会
24日（月）	前期清掃班組織会 眼科検診
25日（火）	児童集会
27日（木）	クラブ活動
28日（金）	交通安全教室
29日（土）	昭和の日

【3. 1. 1の前日】



菫町小学校2階教育相談室には、「平成23年3月11日に発生した東日本大震災で学んだことを決して忘れず、（1）自助（自分の安全は自分で守ること）、（2）共助（互いに助け合うこと）など防災の心を根付かせ、この木とともに大きく成長していくことを誓います。」と記されたメッセージとともに、平成23年10月22日青森県子ども防災会議から贈呈された「防災の木」が育てられています。

3月11日前日、この木が赤紫色の花を咲かせました。そして、卒業式当日、二輪目の花を咲かせました。卒業生が入学した年にこの木は本校にやってきました。そして卒業生と一緒に成長を遂げてきたのです。教室の片隅で咲く姿は、自らの可能性を信じてひたむきに生きるたくさしさを伝えているようにも感じます。これからも、必要な時に、必要な分の水を与え、日当たりのよい窓際で大切に育て、託されたメッセージを受け継いでいきます。